

平成27年度 学校評価書

I 経営の重点に関わること

学校名: 静岡市立高等学校 (定時制)

1 学校教育目標：責任ある行動力と自主的・協調的な精神の涵養を図り、社会人として望ましい職業観や勤労観を身に付けた健全な勤労学生を育成する。		自己評価	学校関係者評価委員会から	
2 重点目標 組織的な定時制教育を推進するために、 (1)教育活動の計画的な推進による指導と評価の一体化(2)校内研修の計画的な実施と指導力の向上(3)教育課題の解決や改善と組織力の充実に努める。	(1)教育活動の計画的な推進による指導と評価の一体化	①教育活動を計画的に推進し、評価の改善に努める。【教務課】 【学校説明】 計画的かつ系統的な教育活動に取り組んだ。指導と評価の一体化を図るために、次年度以降のシラバス作成に向けて、指導内容の記録を取るなどの準備を行った。	B	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ系統的な教育活動は大切であり、生徒の実態を丁寧に観るきっかけになる。 個性の違いがある生徒に合った教育課程を考え、実践及び評価することは難しいが、シラバス(平成29年度)作成を見据えて、生徒に達成感を感じさせる工夫をお願いしたい。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の変化を踏まえて教務内規を見直すことは大切なことである。 教務内規の見直しはどのような手続きで進めるのか知りたい。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の研修は、全ての教職員にとって大切なことだと思います。 1年生時は特に個別の実情に寄り添えるような体制をお願いしたい。 教職員のカウンセリングマインドの研修も是非企画して欲しい。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 各研修会の内容を、教職員全体で共有できたことは喜ばしい。 研修に参加した者が自己完結するのではなく、研修内容をタイムリーに伝播していることは教職員全体の指導力向上に繋がる。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の職員組織への信頼があるように感じました。 情報を共有する習慣が定着するなど、お互いをフォローしあう教員の姿勢(関係)は生徒を著実に伸ばしていくものである。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 評議員への授業開放は素晴らしいと感じています。是非継続を期待します。多くの人が訪れるといいですね。 和気あいあいと生徒にわかりやすい授業をしており、工夫のあとが見られて良かった。根付く授業を行うため、さらに指導内容、指導方法の改善に努めて欲しい。 評議員として見学させてもらったことにより、生徒の実情がわかり、また、生徒にとっても励みになって良いことだと痛感した。
		②教務内規の抜本的な見直しをし、改訂に着手する。【教務課・管理職】 【学校説明】 教務内規及び細則について、関係法規等に基づき、表記及び解釈等を再確認し、抜本的に見直しを行った。	A	
	(2)校内研修の計画的な実施と指導力の向上	①校内研修を計画的に実施し、指導力の向上に努める。【管理職・教務課】 【学校説明】 特別支援教育をはじめとする校内研修を充実させ、多様な生徒一人ひとりの実情に寄り添うことが出来る指導力の向上に努めた。	A	
		②校外における研修等(講演会・講習会含む)への職員の積極的な参加を推進する。また、研修参加後には報告会を開き、研修内容を職員全員で共有する習慣を定着させる。【管理職】 【学校説明】 講演会及び講習会を含め校外における研修に参加した教員は、その内容を要約し伝達することを徹底し、喫緊の教育課題等を職員全体で共有する習慣を定着させ、教員各人の指導力向上を図った。	A	
	(3)教育課題の解決や改善と組織力の充実に努める。	①教育課題の解決や改善に取組み、組織力の充実に努める。【管理職・教務課】 【学校説明】 日頃から授業の進捗状況や生徒の人間関係等の情報を職員全体で共有することを習慣化し、本校定時制課程ならではの教育課題とは何かを再点検した。	A	
		②学校評議員による学校評価等により教育活動を点検し、改善を図る。【管理職】 【学校説明】 ・第2回の学校評議員委員会で、定時制課程の教育に対して数多くの助言を得た。コミュニケーション能力を向上させる目的で、総合学習の時間で「傾聴スキル」に特化した演習を行った。また、生徒会活動を起点として、学校行事の企画及び運営において、生徒が主体的に活躍できる体制を考え支援した。実社会で逞しく生きていく力を身につけさせるために、国語で教科書を大きな声で朗読することを習慣付けたり、自己表現力を養うことを目的として、英語によるプレゼンテーションや公民でディベート活動を意図的に実施した。また、理科や保健体育では最新の時事を反映させた授業展開を心掛け、個に寄り添った教材の提供と言語活動の充実に重点を置き、授業改善を行い指導力向上を図った。	A	

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から		
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①規則正しい生活習慣を定着させ、学習活動に積極的に取り組む調和のとれた高校生を育成する。【各学年】 【学校説明】【1年部】 ・年間の出席率80%以上、遅刻率10%以下にすることを目標として掲げ、SHRやHR活動等を通じて、「時」を守り「場」を弁えることの大切さを説諭するなど、教員が日常的に率先垂範し、基本的な生活習慣の確立を図った。 【学校説明】【2年部】 ・HR活動等で、将来を見据えた学習の必要性を意図的かつ継続的に説いていくことで、職業観を豊かにさせ、就業や進学に対して具体的な努力目標を持てるように指導した。 【学校説明】【3年部】 ・毎日の授業を大切にさせ、学校や職場(アルバイト先)で良好な人間関係を築くとともに、常識ある行動が取れ、マナーが身につくような指導支援を行った。 【学校説明】【4年部】 ・「全員が進路実現し揃って卒業する。」という目標を実現させるために勉学と勤労を両立させ、これまで培ってきた人間関係をより良好に深めながら、また、自立してお互いに高め合える存在となれるよう指導支援した。	B	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の雰囲気は良かったように思えます。昼間の生徒に気を遣わずに教室づくりが出来そうですね。 時を守り、場を弁えることは、定時制の生徒に限らず、人としての基本であるので、徹底して指導して欲しい。 学年毎の目標がしっかり定まっているので、良いと思います。 生徒が将来社会人(職業人)としてどのように生きていけばいいかといった、社会観や職業観、またその関わりについての視点が弱いと感じているので、HR活動や総合学習の時間を効果的に使っていることは大変好ましいと思う。 		
		②4年間を通して学習活動を含めたキャリア教育を充実する。【各学年】 【学校説明】【1年部】 ・中学校までの学び直しに重点を置き、個に応じて学習の躓きに寄り添った指導支援を行い、基礎学力の伸長を図った。 【学校説明】【2年部】 ・面談等を活用し生徒理解に努め、個のニーズや能力に応じた学習指導を行い、学習に対する意欲と自信が向上する指導を行った。 【学校説明】【3年部】 ・卒業生の体験談を紹介したり、DVD視聴等で様々な職業紹介をし、職業観や将来に向けた学力・技術の向上とキャリアデザインが描けるような指導支援を行った。 【学校説明】【4年部】 ・進路実現とともに将来に向けたキャリアデザインが描ける指導支援を目指して、二者面談及び三者面談を充実させた。夏季休業中に就職希望者には企業訪問1社以上、進学希望者には学校見学を1校以上実施出来るように、計画及び連絡調整段階から綿密に指導支援した。	B			
		(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①社会貢献活動(ボランティア)や地域社会に積極的に参加する生徒を育む。 【総合的な学習の時間】 【学校説明】 ・「人間関係づくりプログラム(高校生版)」の有効活用を通して、意図的かつ継続的に他者理解や自己理解をはじめとするコミュニケーション能力の向上を図り、他者及び地域社会との関わりを学んだ。		A	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動に積極的に参加させ、豊かな人間性や温かい心を育てたい。 ボランティア活動を体験して、社会を見る目を広げられたらいいと思います。
			(3)特別活動の充実 【市共通項目3】		①学校行事やHR活動等において、生徒が主体的に活動する機会を増やし、仲間意識を育てる。 【生徒課】 【学校説明】 ・生徒会新聞の発行(各学期1回以上)と、学校行事が生徒会役員による主体的な企画及び運営となるよう指導支援し、学年の枠を超えて生徒が意欲的に取り組める環境整備をした。	

2 生徒指導	(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①清々しい挨拶ができ、品位ある身だしなみ、正しい言葉遣いが習慣化した生徒を育成する。 【生徒課】	A	A	・学習時の様子、食堂での様子、清しく気持ちよかったです。 ・生徒の雰囲気落ち着いているように感じます。職員との信頼関係が出来ているように感じました。 ・挨拶や身だしなみなどは指導のおかげか、思った以上に感じた。
		【学校説明】 ・身だしなみや正しい言葉遣いが定着するように、全職員が「あいさつ+α」や「ベップトーク（日常的な励まし言葉掛け）」を実践した。また、規範意識の高い人材育成を実現するために、教育活動のすべての場面で「時」「場」「人」を意識させた指導支援を徹底した。			
3 進路指導	(1)進路指導の充実	①キャリア教育の推進をし、職業意識の高揚を図る。【進路課・各学年】	B	B	・即、地域に貢献していく生徒たちです。自信を持ってもらいたいですね。 ・外部講師を招聘しての進路ガイダンスは効果があったのではないかと思います。
		【学校説明】 ・定時制課程に学ぶ生徒が、自分の将来に向けてより現実的なキャリアデザインが描きやすくなるように進路講演会等における講師や講話内容を精選し、HR活動等で職業観や社会観が醸成されることが期待できるDVD教材等を視聴するなどの機会を充実させた。			
		②社会人として望ましい職業観や勤労観を養い、在学時や卒業時の就職率を高める。 【進路課・各学年】	A	A	・就業の大切さをさらに意識させ、生の声を1つでも多く届けて、進路指導（支援）を充実させて欲しいと思います。 ・信頼関係が成り立っているのは、職場訪問や面談等、先生方の丁寧な指導がなされているからだと思います。
		【学校説明】 ・1年生は5月連休以降を目処に就業（アルバイト）斡旋しており、在学生が恒常的に就業している環境を推奨した。昼間は就業し夜間に学習する定時制過程本来の生活習慣を継続的に体験させ、職場訪問（年1回）するなど、生徒の成長の様子を多面的に捉えながら進路指導支援に反映させた。			
4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①防災教育や交通安全教育を推進し、生徒自らが安全に行動する力を育成する。 【管理職・生徒課】	B	B	・東海地震に備え、生徒の命を守るために、さらにきめ細かな対策が望まれる。 ・過去の災害例などを伝えることが一番実感出来るのではないかと思います。通常時の事故（自転車）にも十分に気をつけて欲しい。
		【学校説明】 ・日頃から自主防災意識を啓発した。また、防災訓練時等の機会を捉え、東日本大震災等から学んだ教訓を効果的に伝えた。 ・外部講師招聘による交通安全教室（年1回）と自転車点検（各学期1回）等を実施した。			
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	①生徒自ら正しい健康管理ができ、安全で規則正しい生活習慣を身に付ける。 【保健室・保健体育科】	A	A	・給食の管理がしっかりとされている事で、生徒の体調はもちろん心のケアや職員との会話で社会性も身につくと感じた。 ・タイムリーな「保健だより」の情報は生徒の健康管理に役立っていると思う。
		【学校説明】 ・給食の摂食率を毎日管理し、給食の摂食指導を契機とした健康教育を行った。また、教科「保健体育」では、医薬品の正しい使用方法や睡眠のとり方、インフルエンザ等の感染症に関する健康教育を重点を置き指導支援した。さらに「保健だより」等で生徒に情報発信し、健康管理の啓発に努めた。			
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①中学校や児童相談所等との連携を十分に図り、生徒個々の情報収集に努め、その情報を職員間で共有することを徹底し、個に応じた最適な支援に繋げる。 【教務課・特別支援教育担当】	A	A	・職員間での情報収集及び共有の徹底は大変効果的だと思う。 ・中学校をはじめ様々な所と情報を共有しながら、生徒との人間的な触れ合いを密にして、メンタル面でのフォローをさらにじゅうじゅうして欲しい。
		【学校説明】 ・中学校側及び保護者からの情報提供を基にして、当該生徒に対する指導方針を教職員間で確認し指導支援した。担任のみならず、教科指導で全職員が生徒に関われるメリットを活かして、長期的な見通しを立てながら、日々の変化をつぶさに情報共有し、状況に応じて柔軟な支援を行った。			
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①成果物（データ）等の整理に努め、職員の執務の進捗状況や生徒の情報等がタイムリーに共有できるようにする。【管理職】	A	A	・週一、月一で生徒の情報を共有するのは大変有効なことだと思います。こうしたことの積み重ねがスピーディーでタイムリーな対応に繋がっていると思う。
		【学校説明】 ・各分掌及び教科の電子データの系統的な整理及び紙媒体データ（ファイル）等の整理を徹底した。 ・週一度（水曜日）の「清掃の日」を設定し、職員室の衛生面と安全面の徹底を図った。 ・月一度の「生徒の情報共有の日」を開催することを徹底した。（緊急を要する場合は随時開催した。）			
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①定時制教育の現状と課題を踏まえ、在り方生き方教育の充実を期待できる外部講師を招聘し、生徒とともに教職員も学びの多い研修会を企画する。【研修課】	A	A	・アンケートは大変良いと思います。日々の教育活動に関連付け、さらに相乗的な効果を生むような仕掛けを考えて欲しい。 ・外部講師との研修は大切であり、他校種の方々との研修会でも定時制を知ってもらおう機会としたい。
		【学校説明】 ・定時制課程に学ぶ生徒が、将来や社会に対して「希望」が持てるように、在り方生き方に良い影響を与えてくれる講師を選んだ講演会を実施した。また、講演後にアンケートを行い、講演の趣旨の定着をより高められる指導支援を行った。			
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①学校評議委員による学校評価等により教育活動を点検し、改善を図る。 【管理職】	A	A	・多くの人々に観てもらったり、聴いてもらったりするうちに自信がついてきますので、継続的な取組みに期待します。 ・個に寄り添うことに重点を置いていただき、社会で真面目に生きていけるように指導いただきたい。 ・最近の生徒は厳しさが足りない気がするので、もう少し厳しい指導も必要になるのではないかと。
		②学校だよりや生徒会新聞、またHP等による積極的な情報発信を行う。 【管理職・生徒課】	A		
		【学校説明】 ・第2回の学校評議委員会で、定時制課程の教育に対して数多くの助言を得た。コミュニケーション能力を向上させる目的で、総合学習の時間で「傾聴スキル」に特化した演習を行った。また、生徒会活動を起点として、学校行事の企画及び運営において、生徒が主体的に活躍できる体制を考え支援した。実社会で逞しく生きていく力を身につけさせるために、国語で教科書を大きな声で朗読することを習慣付けたり、自己表現力を養うことを目的として、英語によるプレゼンテーションや公民でディベート活動を意図的に実施した。また、理科や保健体育では最新の時事を反映させた授業展開を心掛け、個に寄り添った教材の提供と言語活動の充実に重点を置き、授業改善を行い指導力向上を図った。			
		【学校説明】 ・学校だより（「市定だより」）を年3回以上発行した。 ・生徒会だより（「市定新聞」）を年5回以上発行した。 ・HPの更新を「市定だより」を中心に災害情報など積極的な配信を行った。			

学校から 経営のまとめ(成果と課題)

【成果】①教務内規を抜本的に見直し改訂版を作成した。②校内研修（主に特別支援教育と心の教育）を充実させた。③校外における講演会や講習会に職員を積極的に参加させ見識を高めさせるとともに、研修内容の伝播及び情報の共有化を図るための報告会が定着した。④学校行事の企画及び運営に関して、生徒会を中心として生徒が主体的に活動できるように指導支援が出来た。⑤週一日の清掃の日及び月一日の生徒の情報共有の日（緊急時は随時開催）が徹底できた。⑥第2回学校評議委員会において定時制課程の教育活動に対して数多くの助言を得たことにより、「傾聴スキル」に特化した演習を実施したり、大きな声で教科書を朗読する習慣付けや英語におけるプレゼンテーション、また、公民におけるディベート活動などを通して、生徒が主体的に学ぶことが出来るよう言語活動の充実に重点を置いて、即時的に授業改善を行った。⑦「市定だより」「市定新聞」などの発行に力を入れ、HP等への広報活動を活発化した。また、掲示板等を整然と活用することで、環境整備と生徒の美化意識の高揚を図ることが出来た。【課題】①平成28年度に各教科の年間指導計画を見直し、平成29年度にシラバス公開をする。②ボランティア活動に意図的に参加する。（3・4年生対象予定）③防災教育を充実させる。（消防署との連携等）

学校関係者評価委員会まとめ

教職員が一丸となってきめ細やかに生徒のために尽力していることを感じる。さらに学校全体のシステムアップ化や将来社会の中で生きていける人間力を育ててほしい。学校のますますの発展を祈る。